

2023年12月13日

横浜ゴム、護衛艦向け複合アンテナの共同開発で 防衛基盤整備協会賞を受賞

横浜ゴム（株）は日本電気（株）および三波工業（株）と取り組んだ護衛艦向け複合通信空中線「NORA-50（通称：UNICORN[※]）」の開発で、公益財団法人防衛基盤整備協会より「令和5年度防衛基盤整備協会賞」を受賞しました。同賞は防衛装備庁後援のもと、防衛装備品の開発や生産において特に優れた業績をあげた個人やグループに贈られるもの。贈呈式は11月29日にホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）で行われました。 ※UNified COmplex Radio aNtenna の略

「UNICORN」はステルス性向上を目的に、従来甲板上の柱（マスト）の複数箇所に取り付けられていた様々な空中線（アンテナ）を1本の支柱に集約したもので、優れたステルス性だけでなく、アンテナの最適配置により外部から発信された電波の最大探査距離を向上したほか、整備および取り付け工程の簡略化を実現しました。現在、海上自衛隊の「もがみ」型護衛艦に装備されています。

横浜ゴムが開発を担当したのは「UNICORN」全体を覆うアンテナ用カバー（レドーム）で、これまで航空機用のレドーム開発で培ってきた技術を活かし、電波透過性を最大限高めながら、基本性能である耐候性はもちろん、落雷からアンテナを保護する耐雷性も兼ね備えています。

横浜ゴムは2021年度から2023年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）に取り組んでいます。MB事業では強みであるホース配管事業と工業資材事業にリソースを集中してMB事業の成長を牽引し、安定収益を確保できる構造を目指しています。その中で2022年3月末に航空部品事業を技術面で親和性の高い工業資材事業部に統合し、より付加価値の高い商品の開発に取り組んでいます。



日本電気、三波工業の方々と記念撮影する横浜ゴムの内藤圭一郎工業資材事業部長代理（後列右端）と技術開発を担当した宮崎輝規（前列右から2番目）



複数のアンテナが取り付けられている護衛艦のマスト（左）と「もがみ」に装備された「UNICORN」（出典：海上自衛隊ホームページ）

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
 TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552